

作成日 平成18年6月1日  
改訂日 平成21年7月13日

# 標準施工仕様書

製品名 セラトップシリコンM

---

仕様 -

---

山本窯業化工株式会社

技 術 部

## 製品概要

JIS表示	JIS A 6909 建築用仕上塗材上塗材
特記	アクリルシリコン樹脂塗料
性状	透明液体
光沢	全艶 半艶
用途	住宅・マンション・事務所・店舗・学校・その他の建築物(新築・改修)の内外壁面。
適用下地	カーセラムックス製品の上塗材
適用箇所	屋内・屋外壁面
荷姿	セトップシリコンM主剤 14kg/缶 セトップシリコンM硬化剤 2kg/缶 セトップシリコンMシンナー 16L/缶
概要	弱溶剤タイプは従来の溶剤タイプに比べて臭気が少ない為、安全な施工環境を提供します。まわりの環境や施工者の方も安心です。2液型反応タイプで結合エネルギーの大きいシロキサン結合により、強靱で耐久性の高い塗膜を形成します。また、劣化の原因となる紫外線から塗膜を守り、長期にわたって建物を保護し、美観を維持します。
特徴	シロキサン結合と紫外線吸収機能の合体により大幅に耐候性がアップし、限りなくフッ素樹脂塗料に近い塗膜性能を有します。 地球環境にやさしく、安全な作業環境を提供します。弱溶剤型塗料ですので幅広い塗り替えに適しています。 従来の錠剤型塗料に比べ臭気が少なく、塗装作業性に優れています。

## 施工上の注意事項

- 1 下地調整の工程は塗装工事における責任範囲には含まれません。
- 2 養生テープは塗膜厚を考慮して、強度の高いものを使用して下さい。
- 3 コンプレッサーは3馬力以上のものご使用下さい。(セラグラニーの3頭ガンは5馬力以上)
- 4 下地は十分に乾燥してから施工してください。乾燥不十分の場合、色ムラ、剥離等の生じる原因となります。
- 5 改装工事の場合、下地の状態を十分に調査し、劣化塗膜の浮き、割れ、チョーキング等の場合、これを完全に除去し、清掃してから施工してください。
- 6 金属下地及び釘頭などの上に施工する場合、必ず防錆処理を行って下さい。
- 7 施工にあたっては同一ロット、同一方法で、入り隅、出隅等見切りの良いところまで仕上げして下さい。同一壁面途中での塗り継ぎは色違いやムラの原因になります。
- 8 気温5℃以下、湿度85%以上または降雨、降雪、強風の場合は施工を避けて下さい。  
また作業後に、降雨、降雪の恐れがある時は雨(雪)養生をして下さい。なお、夜間の気温が氷点下になる恐れがある場合は、午後3時頃までに作業を打ち切るようにして下さい。
- 9 施工後24時間以内に降雨、結露等水の影響で白化や色ムラが発生し、壁面に残る場合があります。
- 10 湿度の高い場合、乾燥が遅れますので十分換気して下さい。乾燥が不十分ですと色ムラ・剥離等を生じる原因となります。
- 11 低温、高湿度、風通しの悪い場合に白化や色ムラが発生し、壁面に残る場合があります。
- 12 冬期・低温時の施工では溶剤系下塗材(シーラー)を使用して下さい。水系下塗材(シーラー)の場合、乾燥が遅くなるため仕上がりにムラを生じる事があります。
- 13 常に結露が発生する地域・時期での施工は避けて下さい。
- 14 仕上材を施工する場合は、上吹き後、夏期24時間、冬期48時間以上乾燥後施工に入して下さい。
- 15 仕上材(トップコート)の施工にはリシンガンを用いず、必ずエア塗料ガン、エアレススプレーガン等を使用して下さい。
- 16 溶剤系仕上材の可使用時間(セトップUF(UC)クリヤー、セトップシリコンM、セトップシリコンSi)は8時間、(セトップフッ素クリヤー)は5時間ですので5～8時間で使い切る量として下さい。
- 17 仕上材の工程内間隔時間はマルチップSi、マルチップF、セトップUF(UC)クリヤー、セトップフッ素クリヤーで3時間以上、セトップシリコンMで4時間以上、セトップシリコンSiで6時間以内(気温20℃、湿度65%)として下さい。
- 18 セトップUF(UC)クリヤー、セトップシリコンM、セトップシリコンSi、セトップフッ素クリヤーは溶剤系塗料であるため、消防法及び危険物取締条例等関係法令に準拠し、防火、消火、安全衛生等に備えるとともに正しい使用により施工して下さい。
- 19 安全衛生上の注意事項については、下記に掲載していますが、容器の表示も合わせてご参照下さい。
- 20 その他の注意事項
  - ①材料の有効期間は密封保存で6ヶ月以内ですが、早めに使用して下さい。
  - ②材料の保管は気温5～35℃で、密封のまま直射日光を避け、屋内に貯蔵して下さい。長時間貯蔵したものは十分攪拌し、変質の有無を確認して下さい。

※その他、ご不明な点がございましたら、弊社までお問い合わせ下さい。

## 標準施工仕様

### 〔1〕 施工前の注意事項

- 1 湿度の高い場合、乾燥が遅れますので十分換気して下さい。乾燥が不十分ですと色ムラ・剥離等を生じる原因となります。
- 2 仕上材を施工する場合は、上吹き後、夏期24時間、冬期48時間以上乾燥後施工に入して下さい。
- 3 仕上材(トップコート)の施工にはリシンガンを用いず、必ずエア塗料ガン、エアレスプレーガン等を使用して下さい。
- 4 セラトップシリコンMの可使時間は6時間ですので6時間で使い切る量として下さい。
- 5 仕上材の工程内間隔時間は4時間以上(気温20℃、湿度65%)として下さい。
- 6 セラトップシリコンM溶剤系塗料であるため、消防法及び危険物取締条例等関係法令に準拠し、防火、消火、安全衛生等に備えるとともに正しい使用により施工して下さい。

工程	使用材料名と調合割合	所要量 (kg/m <sup>2</sup> )	使用器具	回数	間隔時間
1	セラトップシリコンM主剤 (全艶)	14kg	エアレスユニット 吐出量: 1.3~1.6ℓ/min 口径: 0.5~1.0mm パターン: 330mm エアースプレー 口径: 1.0~1.5mm 圧力: 340~440KPa	2	4時間以上
	セラトップシリコンM硬化剤	2kg			
	セラトップシリコンMシンナー	5~7ℓ			
1	セラトップシリコンM主剤 (半艶)	14kg	エアレスユニット 吐出量: 1.3~1.6ℓ/min 口径: 0.5~1.0mm パターン: 330mm エアースプレー 口径: 1.0~1.5mm 圧力: 340~440KPa	2	4時間以上
	セラトップシリコンM硬化剤	2kg			
	セラトップシリコンMシンナー	5~7ℓ			

### 対応商品

セラスキン	パワーローラーL	グラテ	グッセラGハイシー	ユカセラHR(吹付用)
セラスキン特粒	セラキューブEX	ファインローラーSi	セラグラニーL	ユカセラHR(コテ塗り用)
セラスキンCGM	テラックス2000	グッセラGキューブ	セラグラニーW	ユカセラHG
セラスキンローラー	パワーキャスト	グッセラGテラックス	セラカット	※ユカセラHR、HGは 艶消の施工はできま せん。
セラベック	マルチストーン	グッセラGスキン	マテーストン	
テラックス	ハイシーカラー	グッセラGベック	セラグラニーW <sub>3</sub>	
セラキャストD	テラウオールSi	プレミックス	グッセラGグラニーL	
セラキャストSC	グッセラGキャスト	ハイシーストーンSi	グッセラGグラニーW	
セラキャストX	グッセラGローラー	グッセラGマーブル	グッセラGグラニーW <sub>3</sub>	
パワーローラーS	アレナムロ	グッセラGマルチ	セラパールーフストーン	

工程		使用材料名と調合割合	所要量 (kg/m <sup>2</sup> )	使用器具	回数	間隔時間
1	仕上材塗布	セラトップシリコンM主剤 (全艶)	14kg	エアレスユニット 吐出量:1.3~1.6ℓ/min 口径:0.5~1.0mm パターン:330mm エアースプレー 口径:1.0~1.5mm 圧力:340~440KPa	2	4時間以上
		セラトップシリコンM硬化剤	2kg			
		セラトップシリコンMシンナー	5~7ℓ			
1	仕上材塗布	セラトップシリコンM主剤 (半艶)	14kg	エアレスユニット 吐出量:1.3~1.6ℓ/min 口径:0.5~1.0mm パターン:330mm エアースプレー 口径:1.0~1.5mm 圧力:340~440KPa	2	4時間以上
		セラトップシリコンM硬化剤	2kg			
		セラトップシリコンMシンナー	5~7ℓ			

**対応商品**

セラフラット                      コテファインFX                      コテファインK                      コテファインP                      セラプルーフストーン(フラット)  
コテファインサガンSi              コテファインライムSi

※ 上記の各数値は全て標準のものです。施工方法、施工条件等により多少の差異を生じる事がありますのでご了承下さい。

**塗装上の注意事項**

- 1 気温が5℃以下、湿度85%以上又は降雨、降雪、強風の場合は施工を避けて下さい。また、作業後に降雨、降雪の恐れがある時は雨(雪)養生して下さい。
- 2 間隔時間は気温23℃(湿度50%)の場合です。気温が低い場合や湿度が高い場合は、間隔時間を長めにとって下さい。
- 3 希釈用シンナーは必ず専用シンナーを使用して下さい。
- 4 スプレー塗装の場合は、塗膜の剥離の原因となるドライアウト現象を起こさないように注意し、高温、強風下等の環境条件によってはシンナーを増量して下さい。
- 5 溶剤系塗料であるため施工に当っては換気及び通気をよくし、保護メガネ、マスク、手袋等の着用を励行して下さい。消防法及び危険物取締条例等関係法令に準拠し、防火、消火、安全衛生等に備えと共に正しい使用により施工して下さい。

上記の各数値はすべて標準のものです。施工方法・施工条件等により、多少の差異が生じる事がありますのでご了承下さい。  
間隔時間は気温23℃(湿度50%)の場合です。気温が低い場合や湿度が高い場合は間隔時間を長めにとって下さい。

## 安全衛生上の注意事項

### 水系商品対象

#### 取扱い及び貯蔵上の注意

- 1 取扱いは、できるだけ皮膚に触れないようにし、必要に応じて防塵マスク、保護メガネ、保護手袋を着用して下さい。
- 2 取扱い後は、手洗い及びうがいを充分に行ってください。
- 3 子供の手の届かない所に保管して下さい。
- 4 塗装・洗浄・乾燥等を行う取扱い作業場所では局所排気装置を設け、作業中・作業後も充分換気を行ってください。

#### 緊急時及び応急処置

- 1 容器からこぼれた場合には、砂等を散布した後処理して下さい。
- 2 目に入った場合には、直ちに多量の水で15分以上洗い、できるだけ早く医師の診断を受けて下さい。
- 3 誤って飲み込んだ場合には、できるだけ早く医師の診断を受けて下さい。

#### 廃棄上の注意

- 1 中身を使い切ってから廃棄して下さい。
- 2 廃塗材、廃容器、洗浄水等は、産業廃棄物処理業者に委託して処理して下さい。

**詳細な内容が必要な場合には、化学物質等安全データシート(MSDS)をご参照下さい。**

### 溶剤系商品対象

通常の塗料に比べて幾分毒性が強く、吸入したり皮膚に触れたりすると中毒やかぶれを起こす恐れがありますから、取扱いには下記の注意事項を守って下さい。

#### 取扱い及び貯蔵上の注意

- 1 火気のある所では使用しないで下さい。
- 2 塗装中、乾燥中、とも換気をよくし、蒸気を吸い込まないようにして下さい。
- 3 取扱いは、できるだけ皮膚に触れないようにし、必要に応じて有機ガス用防毒マスク、送気マスク、頭巾、保護メガネ、襟巻タオル、保護手袋、前掛け等を着用して下さい。
- 4 取扱い後は、手洗い及びうがいを充分に行ってください。
- 5 子供の手の届かない所に保管して下さい。
- 6 40℃以下の一定の場所を定めて貯蔵して下さい。

#### 緊急時及び応急処置

- 1 容器からこぼれた場合には、布で拭き取って水をはった容器に保管して下さい。
- 2 目に入った場合には、直ちに多量の水で15分以上洗い、できるだけ早く医師の診断を受けて下さい。
- 3 誤って飲み込んだ場合には、できるだけ早く医師の診断を受けて下さい。
- 4 蒸気、ガス等を吸い込んで気分が悪くなった時は、安静にし、必要に応じて、できるだけ早く医師の診断を受けて下さい。
- 5 皮膚に付着した時には、多量の石鹼水で洗い落とし、痛み又は外観に変化がある時は、できるだけ早く医師の診断を受けて下さい。
- 6 火災時には、炭酸ガス、泡又は粉末消火器を用いて下さい。

#### 廃棄上の注意

- 1 中身を使い切ってから廃棄して下さい。
- 2 廃塗材、廃容器、洗浄水等は、産業廃棄物処理業者に委託して処理して下さい。

**詳細な内容が必要な場合には、化学物質等安全データシート(MSDS)をご参照下さい。**

作成日 平成17年4月1日  
改訂日 平成21年7月13日

# 標準施工仕様書

製品名   メルトップSi

---

仕様       -

---

山本窯業化工株式会社

技 術 部

## 製品概要

JIS表示	JIS A 6909 建築用仕上塗材上塗材
特記	シリコン変性アクリル系合成樹脂エマルジョン塗料
性状	乳白色液体
光沢	全艶 3分艶
用途	住宅・マンション・事務所・店舗・学校・その他の建築物(新築・改修)の内外壁面。
適用下地	カラーセラミックス製品の上塗材
適用箇所	屋内・屋外壁面
荷姿	むとつぷSi(全艶) 15kg/缶 むとつぷSi(3分艶) 15kg/缶
概要	むとつぷSiは主成分がアクリルシリコン樹脂の水性のトップコートです。水性ですので使い易く、紫外線吸収剤の添加により耐久性が優れています。
特徴	シリコン変性アクリル系合成樹脂エマルジョンが主成分で耐候性、耐久性に優れています。 紫外線吸収剤の添加により耐久性が優れています。 合成樹脂エマルジョンですから希釈、塗布とも作業が容易です。

## 施工上の注意事項

- 1 下地調整の工程は塗装工事における責任範囲には含まれません。
- 2 養生テープは塗膜厚を考慮して、強度の高いものを使用して下さい。
- 3 コンプレッサーは3馬力以上のものご使用下さい。(セラグラニーの3頭ガンは5馬力以上)
- 4 下地は十分に乾燥してから施工してください。乾燥不十分の場合、色ムラ、剥離等の生じる原因となります。
- 5 改装工事の場合、下地の状態を十分に調査し、劣化塗膜の浮き、割れ、チョーキング等の場合、これを完全に除去し、清掃してから施工してください。
- 6 金属下地及び釘頭などの上に施工する場合、必ず防錆処理を行って下さい。
- 7 施工にあたっては同一ロット、同一方法で、入り隅、出隅等見切りの良いところまで仕上げして下さい。同一壁面途中での塗り継ぎは色違いやムラの原因になります。
- 8 気温5℃以下、湿度85%以上または降雨、降雪、強風の場合は施工を避けて下さい。  
 また作業後に、降雨、降雪の恐れがある時は雨(雪)養生をして下さい。なお、夜間の気温が氷点下になる恐れがある場合は、午後3時頃までに作業を打ち切るようにして下さい。
- 9 施工後24時間以内に降雨、結露等水の影響で白化や色ムラが発生し、壁面に残る場合があります。
- 10 湿度の高い場合、乾燥が遅れますので十分換気して下さい。乾燥が不十分ですと色ムラ・剥離等を生じる原因となります。
- 11 低温、高湿度、風通しの悪い場合に白化や色ムラが発生し、壁面に残る場合があります。
- 12 冬期・低温時の施工では溶剤系下塗材(シーラー)を使用して下さい。水系下塗材(シーラー)の場合、乾燥が遅くなるため仕上がりにムラを生じる事があります。
- 13 常に結露が発生する地域・時期での施工は避けて下さい。
- 14 仕上材を施工する場合は、上吹き後、夏期24時間、冬期48時間以上乾燥後施工に入して下さい。
- 15 仕上材(トップコート)の施工にはシンガンを用いず、必ずエア塗料ガン、エアレススプレーガン等を使用して下さい。
- 16 溶剤系仕上材の可使用時間(セラトップUF(UC)クリヤー、セラトップシリコンM、セラトップシリコンSi)は8時間、(セラトップフッ素クリヤー)は5時間ですので5~8時間で使い切る量として下さい。
- 17 仕上材の工程内間隔時間はむとつぷSi、むとつぷF、セラトップUF(UC)クリヤー、セラトップフッ素クリヤーで3時間以上、セラトップシリコンMで4時間以上、セラトップシリコンSiで6時間以内(気温20℃、湿度65%)として下さい。
- 18 セラトップUF(UC)クリヤー、セラトップシリコンM、セラトップシリコンSi、セラトップフッ素クリヤーは溶剤系塗料であるため、消防法及び危険物取締条例等関係法令に準拠し、防火、消火、安全衛生等に備えるとともに正しい使用により施工して下さい。
- 19 安全衛生上の注意事項については、下記に掲載していますが、容器の表示も合わせてご参照下さい。
- 20 その他の注意事項
  - ①材料の有効期間は密封保存で6ヶ月以内ですが、早めに使用して下さい。
  - ②材料の保管は気温5~35℃で、密封のまま直射日光を避け、屋内に貯蔵して下さい。長時間貯蔵したものは十分攪拌し、変質の有無を確認して下さい。

※その他、ご不明な点がございましたら、弊社までお問い合わせ下さい。

## 標準施工仕様

### 〔1〕 施工前の注意事項

- 1 湿度の高い場合、乾燥が遅れますので十分換気して下さい。乾燥が不十分ですと色ムラ・剥離等を生じる原因となります。
- 2 仕上材を施工する場合は、上吹き後、夏期24時間、冬期48時間以上乾燥後施工に入って下さい。
- 3 仕上材(トップコート)の施工にはリシンガンを用いず、必ずエア塗料ガン、エアレスプレーガン等を使用して下さい。
- 4 仕上材の工程内間隔時間は3時間以上(気温20℃、湿度65%)として下さい。

工程	使用材料名と調合割合	所要量 (kg/m <sup>2</sup> )	使用器具	回数	間隔時間
1	ムルトツP°Si(全艶)	15kg	<b>エアレスユニット</b> 吐出量: 1.3~1.6ℓ/min 口径: 0.5~1.0mm パターン: 330mm <b>エアースプレー</b> 口径: 1.0~1.5mm 圧力: 340~440KPa	2	3時間以上
	清水	1.6~2.3kg			
1	ムルトツP°Si(3分艶)	15kg	<b>エアレスユニット</b> 吐出量: 1.3~1.6ℓ/min 口径: 0.5~1.0mm パターン: 330mm <b>エアースプレー</b> 口径: 1.0~1.5mm 圧力: 340~440KPa	2	3時間以上
	清水	1.6~2.3kg			

### 対応商品

セラスキン	セラキャストX	テラウォールSi	グッセラGテラックス	コテファインライムSi	グッセラGグラニーW
セラスキン特粒	セラキューブEX	グッセラGキャスト	グッセラGスキン	マデストーン	グッセラGグラニーW <sub>3</sub>
セラスキンCGM	テラックス2000	アレナムーロ	グッセラGベック	コテファインK	
セラベック	パワーキャスト	グラテ	フレミックス	コテファインP	
セラフラット	セラミカEキャスト	ファインローラーSi	グッセラGマルチ	セラグラニーW <sub>3</sub>	
テラックス	マルチストーン	グッセラGキューブ	コテファインサガンSi	グッセラGグラニーL	

工程	使用材料名と調合割合	所要量 (kg/m <sup>2</sup> )	使用器具	回数	間隔時間
	ムルトツP°Si(全艶)	15kg	<b>ウールローラー</b> または <b>エアレスユニット</b> 吐出量: 1.3~1.6ℓ/min 口径: 0.5~1.0mm パターン: 330mm <b>エアースプレー</b> 口径: 1.0~1.5mm 圧力: 340~440KPa	2	3時間以上
	清水	1.6~2.3kg			
	ムルトツP°Si(3分艶)	15kg	<b>ウールローラー</b> または <b>エアレスユニット</b> 吐出量: 1.3~1.6ℓ/min 口径: 0.5~1.0mm パターン: 330mm <b>エアースプレー</b> 口径: 1.0~1.5mm 圧力: 340~440KPa	2	3時間以上
	清水	1.6~2.3kg			

### 対応商品

セラスキンローラー	ハイシーカラー	ハイシーストーンSi	ユカセラHR(吹付用)	ユカセラHR(コテ塗り用)	ユカセラHG
セラミカEローラー	グッセラGローラー	グッセラGハイシー	※ユカセラHR、HGは3分艶は施工できません。		

※ 上記の各数値は全て標準のものです。施工方法、施工条件等により多少の差異を生じる事がありますのでご了承下さい。

### 塗装上の注意事項

- 1 気温が5℃以下、湿度85%以上又は降雨、降雪、強風の場合は施工を避けて下さい。また、作業後に降雨、降雪の恐れがある時は雨(雪)養生して下さい。
- 2 間隔時間は気温23℃(湿度50%)の場合です。気温が低い場合や湿度が高い場合は、間隔時間を長めにとって下さい。

上記の各数値はすべて標準のものです。施工方法・施工条件等により、多少の差異が生じる事がありますのでご了承下さい。  
 間隔時間は気温23℃(湿度50%)の場合です。気温が低い場合や湿度が高い場合は間隔時間を長めにとって下さい。



## 安全衛生上の注意事項

### 水系商品対象

#### 取扱い及び貯蔵上の注意

- 1 取扱いは、できるだけ皮膚に触れないようにし、必要に応じて防塵マスク、保護メガネ、保護手袋を着用して下さい。
- 2 取扱い後は、手洗い及びうがいを充分に行ってください。
- 3 子供の手の届かない所に保管して下さい。
- 4 塗装・洗浄・乾燥等を行う取扱い作業場所では局所排気装置を設け、作業中・作業後も充分換気を行ってください。

#### 緊急時及び応急処置

- 1 容器からこぼれた場合には、砂等を散布した後処理して下さい。
- 2 目に入った場合には、直ちに多量の水で15分以上洗い、できるだけ早く医師の診断を受けて下さい。
- 3 誤って飲み込んだ場合には、できるだけ早く医師の診断を受けて下さい。

#### 廃棄上の注意

- 1 中身を使い切ってから廃棄して下さい。
- 2 廃塗材、廃容器、洗浄水等は、産業廃棄物処理業者に委託して処理して下さい。

**詳細な内容が必要な場合には、化学物質等安全データシート(MSDS)をご参照下さい。**

### 溶剤系商品対象

通常の塗料に比べて幾分毒性が強く、吸入したり皮膚に触れたりすると中毒やかぶれを起こす恐れがありますから、取扱いには下記の注意事項を守って下さい。

#### 取扱い及び貯蔵上の注意

- 1 火気のある所では使用しないで下さい。
- 2 塗装中、乾燥中、とも換気をよくし、蒸気を吸い込まないようにして下さい。
- 3 取扱いは、できるだけ皮膚に触れないようにし、必要に応じて有機ガス用防毒マスク、送気マスク、頭巾、保護メガネ、襟巻タオル、保護手袋、前掛け等を着用して下さい。
- 4 取扱い後は、手洗い及びうがいを充分に行ってください。
- 5 子供の手の届かない所に保管して下さい。
- 6 40℃以下の一定の場所を定めて貯蔵して下さい。

#### 緊急時及び応急処置

- 1 容器からこぼれた場合には、布で拭き取って水をはった容器に保管して下さい。
- 2 目に入った場合には、直ちに多量の水で15分以上洗い、できるだけ早く医師の診断を受けて下さい。
- 3 誤って飲み込んだ場合には、できるだけ早く医師の診断を受けて下さい。
- 4 蒸気、ガス等を吸い込んで気分が悪くなった時は、安静にし、必要に応じて、できるだけ早く医師の診断を受けて下さい。
- 5 皮膚に付着した時には、多量の石鹼水で洗い落とし、痛み又は外観に変化がある時は、できるだけ早く医師の診断を受けて下さい。
- 6 火災時には、炭酸ガス、泡又は粉末消火器を用いて下さい。

#### 廃棄上の注意

- 1 中身を使い切ってから廃棄して下さい。
- 2 廃塗材、廃容器、洗浄水等は、産業廃棄物処理業者に委託して処理して下さい。

**詳細な内容が必要な場合には、化学物質等安全データシート(MSDS)をご参照下さい。**

# 標準施工仕様書

製品名 セラトップシリコンSi II

---

仕様 -

---

山本窯業化工株式会社

技 術 部

## 製品概要

JIS表示	JIS A 6909 建築用仕上塗材上塗材
特記	2液強溶剤反応型アクリルシリコン樹脂透明塗料
性状	透明液体
光沢	全艶
用途	住宅・マンション・事務所・店舗・学校・その他の建築物(新築・改修)の内外壁面。
適用下地	カラーセラミックス製品の上塗材
適用箇所	屋内・屋外壁面
荷姿	セラトップシリコンSi II 主剤 10kg/缶 セラトップシリコンSi II 硬化剤 3kg/缶 セラトップシリコンSi II シナー 16L/缶

## 施工上の注意事項

- 1 下地調整の工程は塗装工事における責任範囲には含まれません。
- 2 養生テープは塗膜厚を考慮して、強度の高いものを使用して下さい。
- 3 コンプレッサーは3馬力以上のものをご使用下さい。(セラグラニーの3頭ガンは5馬力以上)
- 4 下地は十分に乾燥してから施工してください。乾燥不十分の場合、色ムラ、剥離等の生じる原因となります。
- 5 改修工事の場合、下地の状態を十分に調査し、劣化塗膜の浮き、割れ、チョーキング等の場合、これを完全に除去し、清掃してから施工してください。
- 6 金属下地及び釘頭などの上に施工する場合、必ず防錆処理を行って下さい。
- 7 施工にあたっては同一ロット、同一方法で、入り隅、出隅等見切りの良いところまで仕上げして下さい。同一壁面途中での塗り継ぎは色違いやムラの原因となります。
- 8 気温5℃以下、湿度85%以上または降雨、降雪、強風の場合は施工を避けて下さい。  
また作業後に、降雨、降雪の恐れがある時は雨(雪)養生をして下さい。なお、夜間の気温が氷点下になる恐れがある場合は、午後3時頃までに作業を打ち切るようにして下さい。
- 9 施工後24時間以内に降雨、結露等水の影響で白化や色ムラが発生し、壁面に残る場合があります。
- 10 湿度の高い場合、乾燥が遅れますので十分換気して下さい。乾燥が不十分ですと色ムラ・剥離等を生じる原因となります。
- 11 低温、高湿度、風通しの悪い場合に白化や色ムラが発生し、壁面に残る場合があります。
- 12 冬期・低温時の施工では溶剤系下塗材(シーラー)を使用して下さい。水系下塗材(シーラー)の場合、乾燥が遅くなるため仕上がりにムラを生じる事があります。
- 13 常に結露が発生する地域・時期での施工は避けて下さい。
- 14 仕上材を施工する場合は、上吹き後、夏期24時間、冬期48時間以上乾燥後施工に入して下さい。
- 15 仕上材(トップコート)の施工にはリシンガンを用いず、必ずエア塗料ガン、エアレススプレーガン等を使用して下さい。
- 16 可使時間は8時間です。
- 17 工程内間隔時間は4時間以上(気温20℃、湿度65%)として下さい。
- 18 消防法及び危険物取締条例等関係法令に準拠し、防火、消火、安全衛生等に備えるとともに正しい使用により施工して下さい。
- 19 安全衛生上の注意事項については、下記に掲載していますが、容器の表示も合わせてご参照下さい。
- 20 その他の注意事項
  - ①材料の有効期間は密封保存で6ヶ月以内ですが、早めに使用して下さい。
  - ②材料の保管は気温5～35℃で、密封のまま直射日光を避け、屋内に貯蔵して下さい。長時間貯蔵したものは十分攪拌し、変質の有無を確認して下さい。

※その他、ご不明な点がございましたら、弊社までお問い合わせ下さい。

## 標準施工仕様

### 〔1〕 施工前の注意事項

- 1 湿度の高い場合、乾燥が遅れますので十分換気して下さい。乾燥が不十分だと色ムラ・剥離等を生じる原因となります。
- 2 仕上材を施工する場合は、上吹き後、夏期24時間、冬期48時間以上乾燥後施工に入して下さい。
- 3 仕上材(トップコート)の施工にはリシンガンを用いず、必ずエア塗料ガン、エアレスプレーガン等を使用して下さい。
- 4 セラトップシリコンSi II の可使時間は8時間ですので8時間で使い切る量として下さい。
- 5 仕上材の工程内間隔時間は6時間以内(気温20℃、湿度65%)として下さい。
- 6 セラトップシリコンSi II は溶剤系塗料であるため、消防法及び危険物取締条例等関係法令に準拠し、防火、消火、安全衛生等に備えるとともに正しい使用により施工して下さい。

工程		使用材料名と調合割合		所要量 (kg/m <sup>2</sup> )	使用器具	回数	間隔時間
1	仕上材	セラトップシリコンSi II 主剤 (全艶)	10kg	0.20~0.24 (2回合計) シンナー含まず	エアレスユニット、エアースプレー ウールローラー	2	(工程内) 4時間以上
		セラトップシリコンSi II 硬化剤	3kg				
		セラトップシリコンSi II シンナー	5~7ℓ				

※ 上記の各数値は全て標準のものです。施工方法、施工条件等により多少の差異を生じる事がありますのでご了承下さい。

### 塗装上の注意事項

- 1 気温が5℃以下、湿度85%以上又は降雨、降雪、強風の場合は施工を避けて下さい。また、作業後に降雨、降雪の恐れがある時は雨(雪)養生して下さい。
- 2 間隔時間は気温23℃(湿度50%)の場合です。気温が低い場合や湿度が高い場合は、間隔時間を長めにとって下さい。
- 3 希釈用シンナーは必ず専用シンナーを使用して下さい。
- 4 溶剤系塗料であるため施工に当っては換気及び通気をよくし、保護メガネ、マスク、手袋等の着用を励行して下さい。消防法及び危険物取締条例等関係法令に準拠し、防火、消火、安全衛生等に備えると共に正しい使用により施工して下さい。

上記の各数値はすべて標準のものです。施工方法・施工条件等により、多少の差異が生じる事がありますのでご了承下さい。  
間隔時間は気温23℃(湿度50%)の場合です。気温が低い場合や湿度が高い場合は間隔時間を長めにとって下さい。

## 安全衛生上の注意事項

### 溶剤系商品対象

通常の塗料に比べて幾分毒性が強く、吸入したり皮膚に触れたりすると中毒やかぶれを起こす恐れがありますから、取扱いには下記の注意事項を守って下さい。

#### 取扱い及び貯蔵上の注意

- 1 火気のある所では使用しないで下さい。
- 2 塗装中、乾燥中、とも換気をよくし、蒸気を吸い込まないようにして下さい。
- 3 取扱いは、できるだけ皮膚に触れないようにし、必要に応じて有機ガス用防毒マスク、送気マスク、頭巾、保護メガネ、襟巻タオル、保護手袋、前掛け等を着用して下さい。
- 4 取扱い後は、手洗い及びうがいを充分に行ってください。
- 5 子供の手の届かない所に保管して下さい。
- 6 40℃以下の一定の場所を定めて貯蔵して下さい。

#### 緊急時及び応急処置

- 1 容器からこぼれた場合には、布で拭き取って水をはった容器に保管して下さい。
- 2 目に入った場合には、直ちに多量の水で15分以上洗い、できるだけ早く医師の診断を受けて下さい。
- 3 誤って飲み込んだ場合には、できるだけ早く医師の診断を受けて下さい。
- 4 蒸気、ガス等を吸い込んで気分が悪くなった時は、安静にし、必要に応じて、できるだけ早く医師の診断を受けて下さい。
- 5 皮膚に付着した時には、多量の石鹼水で洗い落とし、痛み又は外観に変化がある時は、できるだけ早く医師の診断を受けて下さい。
- 6 火災時には、炭酸ガス、泡又は粉末消火器を用いて下さい。

#### 廃棄上の注意

- 1 中身を使い切ってから廃棄して下さい。
- 2 廃塗材、廃容器、洗浄水等は、産業廃棄物処理業者に委託して処理して下さい。

**詳細な内容が必要な場合には、化学物質等安全データシート(MSDS)をご参照下さい。**

作成日 平成13年12月1日  
改訂日 平成21年7月13日

# 標準施工仕様書

製品名 セラトップUF(UC)クリヤー

---

仕様 -

---

山本窯業化工株式会社

技 術 部

## 製品概要

JIS表示	JIS A 6909 建築用仕上塗材上塗材
特記	アクリルウレタン樹脂塗料
性状	透明液体
光沢	全艶
用途	住宅・マンション・事務所・店舗・学校・その他の建築物(新築・改修)の内外壁面。
適用下地	カーセラミックス製品の上塗材
適用箇所	屋内・屋外壁面
荷姿	セトップUF(UC)クリアー主剤 15kg/缶 セトップUF(UC)クリアー硬化剤 3kg/缶 セトップUFシンナー 16L/缶
概要	セトップUCクリアーは二液溶剤型のアクリルウレタン樹脂で、アクリルウレタンの特長ともいえる肉持性と、耐久性、耐候性、耐アルカリ性に優れた特性をもっているため、塗布することによって優れた皮膜を形成します。
特徴	アクリルウレタン塗料の特長である仕上がり性は、肉持ち感に優れています。 耐薬品性にも優れ、耐久性、耐候性に優れた塗膜を形成します。 可使時間が長く(6~8時間)容易に使用できます。

## 施工上の注意事項

- 1 下地調整の工程は塗装工事における責任範囲には含まれません。
- 2 養生テープは塗膜厚を考慮して、強度の高いものを使用して下さい。
- 3 コンプレッサーは3馬力以上のものご使用下さい。(セラグラニーの3頭ガンは5馬力以上)
- 4 下地は十分に乾燥してから施工してください。乾燥不十分の場合、色ムラ、剥離等の生じる原因となります。
- 5 改装工事の場合、下地の状態を十分に調査し、劣化塗膜の浮き、割れ、チョーキング等の場合、これを完全に除去し、清掃してから施工してください。
- 6 金属下地及び釘頭などの上に施工する場合、必ず防錆処理を行って下さい。
- 7 施工にあたっては同一ロット、同一方法で、入り隅、出隅等見切りの良いところまで仕上げして下さい。同一壁面途中での塗り継ぎは色違いやムラの原因になります。
- 8 気温5℃以下、湿度85%以上または降雨、降雪、強風の場合は施工を避けて下さい。  
また作業後に、降雨、降雪の恐れがある時は雨(雪)養生をして下さい。なお、夜間の気温が氷点下になる恐れがある場合は、午後3時頃までに作業を打ち切るようにして下さい。
- 9 施工後24時間以内に降雨、結露等水の影響で白化や色ムラが発生し、壁面に残る場合があります。
- 10 湿度の高い場合、乾燥が遅れますので十分換気して下さい。乾燥が不十分ですと色ムラ・剥離等を生じる原因となります。
- 11 低温、高湿度、風通しの悪い場合に白化や色ムラが発生し、壁面に残る場合があります。
- 12 冬期・低温時の施工では溶剤系下塗材(シーラー)を使用して下さい。水系下塗材(シーラー)の場合、乾燥が遅くなるため仕上がりにもムラを生じる事があります。
- 13 常に結露が発生する地域・時期での施工は避けて下さい。
- 14 仕上材を施工する場合は、上吹き後、夏期24時間、冬期48時間以上乾燥後施工に入して下さい。
- 15 仕上材(トップコート)の施工にはリシンガンを用いず、必ずエア塗料ガン、エアレススプレーガン等を使用して下さい。
- 16 溶剤系仕上材の可使時間(セトップUF(UC)クリアー、セトップシリコンM、セトップシリコンSi)は8時間、(セトップフッ素クリアー)は5時間ですので5~8時間で使い切る量として下さい。
- 17 仕上材の工程内間隔時間はマルチップSi、マルチップF、セトップUF(UC)クリアー、セトップフッ素クリアーで3時間以上、セトップシリコンMで4時間以上、セトップシリコンSiで6時間以内(気温20℃、湿度65%)として下さい。
- 18 セトップUF(UC)クリアー、セトップシリコンM、セトップシリコンSi、セトップフッ素クリアーは溶剤系塗料であるため、消防法及び危険物取締条例等関係法令に準拠し、防火、消火、安全衛生等に備えるとともに正しい使用により施工して下さい。
- 19 安全衛生上の注意事項については、下記に掲載していますが、容器の表示も合わせてご参照下さい。
- 20 その他の注意事項  
①材料の有効期間は密封保存で6ヶ月以内ですが、早めに使用して下さい。  
②材料の保管は気温5~35℃で、密封のまま直射日光を避け、屋内に貯蔵して下さい。長時間貯蔵したものは十分攪拌し、変質の有無を確認して下さい。

※その他、ご不明な点がありましたら、弊社までお問い合わせ下さい。

## 標準施工仕様

### 〔1〕 施工前の注意事項

- 1 湿度の高い場合、乾燥が遅れますので十分換気して下さい。乾燥が不十分ですと色ムラ・剥離等を生じる原因となります。
- 2 仕上材を施工する場合は、上吹き後、夏期24時間、冬期48時間以上乾燥後施工に入して下さい。
- 3 仕上材(トップコート)の施工にはリシンガンを用いず、必ずエア塗料ガン、エアースプレーガン等を使用して下さい。
- 4 セトップUCクリヤーの可使時間は8時間ですので8時間で使い切る量として下さい。
- 5 仕上材の工程内間隔時間は3時間以上(気温20℃、湿度65%)として下さい。
- 6 セトップUCクリヤー溶剤系塗料であるため、消防法及び危険物取締条例等関係法令に準拠し、防火、消火、安全衛生等に備えるとともに正しい使用により施工して下さい。

工程	使用材料名と調合割合	所要量 (kg/m <sup>2</sup> )	使用器具	回数	間隔時間
1	セトップUF(UC)クリヤー主剤 (全艶) 15kg セトップUF(UC)クリヤー硬化剤 3kg セトップUFシンナー 12~16ℓ	0.25~0.30 (2回合計) シナー含まず	<b>エアユニット</b> 吐出量: 1.3~1.6ℓ/min 口径: 0.5~1.0mm パターン: 330mm <b>エアースプレー</b> 口径: 1.0~1.5mm 圧力: 340~440KPa	2	3時間以上

<b>対応商品</b>	セラスキン	セラキャストX	セラグラニー-L	セラグラニー-W <sub>3</sub>
	セラスキン特粒	セラキューブEX	セラグラニー-W	
	セラスキンCGM	テラウォールSi(※)	セラカット	
	セラキャストSC	グラテ	マデストーン	

(※)一部のテクスチャー(仕様)で使用不可。

※ 上記の各数値は全て標準のものです。施工方法、施工条件等により多少の差異を生じる事がありますのでご了承下さい。

### 塗装上の注意事項

- 1 気温が5℃以下、湿度85%以上又は降雨、降雪、強風の場合は施工を避けて下さい。また、作業後に降雨、降雪の恐れがある時は雨(雪)養生して下さい。
- 2 間隔時間は気温23℃(湿度50%)の場合です。気温が低い場合や湿度が高い場合は、間隔時間を長めにとって下さい。
- 3 希釈用シンナーは必ず専用シンナーを使用して下さい。
- 4 スプレー塗装の場合は、塗膜の剥離の原因となるドライアウト現象を起こさないように注意し、高温、強風下等の環境条件によってはシンナーを増量して下さい。
- 5 溶剤系塗料であるため施工に当っては換気及び通気をよくし、保護メガネ、マスク、手袋等の着用を励行して下さい。消防法及び危険物取締条例等関係法令に準拠し、防火、消火、安全衛生等に備えると共に正しい使用により施工して下さい。

上記の各数値はすべて標準のものです。施工方法・施工条件等により、多少の差異が生じる事がありますのでご了承下さい。  
間隔時間は気温23℃(湿度50%)の場合です。気温が低い場合や湿度が高い場合は間隔時間を長めにとって下さい。



## 安全衛生上の注意事項

### 水系商品対象

#### 取扱い及び貯蔵上の注意

- 1 取扱いは、できるだけ皮膚に触れないようにし、必要に応じて防塵マスク、保護メガネ、保護手袋を着用して下さい。
- 2 取扱い後は、手洗い及びうがいを充分に行ってください。
- 3 子供の手の届かない所に保管して下さい。
- 4 塗装・洗浄・乾燥等を行う取扱い作業場所では局所排気装置を設け、作業中・作業後も充分換気を行ってください。

#### 緊急時及び応急処置

- 1 容器からこぼれた場合には、砂等を散布した後処理して下さい。
- 2 目に入った場合には、直ちに多量の水で15分以上洗い、できるだけ早く医師の診断を受けて下さい。
- 3 誤って飲み込んだ場合には、できるだけ早く医師の診断を受けて下さい。

#### 廃棄上の注意

- 1 中身を使い切ってから廃棄して下さい。
- 2 廃塗材、廃容器、洗浄水等は、産業廃棄物処理業者に委託して処理して下さい。

**詳細な内容が必要な場合には、化学物質等安全データシート(MSDS)をご参照下さい。**

### 溶剤系商品対象

通常の塗料に比べて幾分毒性が強く、吸入したり皮膚に触れたりすると中毒やかぶれを起こす恐れがありますから、取扱いには下記の注意事項を守って下さい。

#### 取扱い及び貯蔵上の注意

- 1 火気のある所では使用しないで下さい。
- 2 塗装中、乾燥中、とも換気をよくし、蒸気を吸い込まないようにして下さい。
- 3 取扱いは、できるだけ皮膚に触れないようにし、必要に応じて有機ガス用防毒マスク、送気マスク、頭巾、保護メガネ、襟巻タオル、保護手袋、前掛け等を着用して下さい。
- 4 取扱い後は、手洗い及びうがいを充分に行ってください。
- 5 子供の手の届かない所に保管して下さい。
- 6 40℃以下の一定の場所を定めて貯蔵して下さい。

#### 緊急時及び応急処置

- 1 容器からこぼれた場合には、布で拭き取って水をはった容器に保管して下さい。
- 2 目に入った場合には、直ちに多量の水で15分以上洗い、できるだけ早く医師の診断を受けて下さい。
- 3 誤って飲み込んだ場合には、できるだけ早く医師の診断を受けて下さい。
- 4 蒸気、ガス等を吸い込んで気分が悪くなった時は、安静にし、必要に応じて、できるだけ早く医師の診断を受けて下さい。
- 5 皮膚に付着した時には、多量の石鹼水で洗い落とし、痛み又は外観に変化がある時は、できるだけ早く医師の診断を受けて下さい。
- 6 火災時には、炭酸ガス、泡又は粉末消火器を用いて下さい。

#### 廃棄上の注意

- 1 中身を使い切ってから廃棄して下さい。
- 2 廃塗材、廃容器、洗浄水等は、産業廃棄物処理業者に委託して処理して下さい。

**詳細な内容が必要な場合には、化学物質等安全データシート(MSDS)をご参照下さい。**

作成日 平成21年7月15日  
改訂日 平成25年11月1日

# 標準施工仕様書

製品名 メルトップF

---

仕様 -

---

山本窯業化工株式会社

技 術 部

## 製品概要

JIS表示	JIS A 6909 建築用仕上塗材上塗材
特記	フッ素樹脂エマルジョン塗料
性状	乳白色液体
光沢	全艶 艶消
用途	住宅・マンション・事務所・店舗・学校・その他の建築物(新築・改修)の内外壁面。
適用下地	カラーセラミクス製品の上塗材
適用箇所	屋内・屋外壁面
荷姿	マルチップF(全艶) 13kg/缶
概要	マルチップFは主成分がフッ素樹脂の水性のトップコートです。水性ですので使い易く、耐久性が優れています。
特徴	超耐候性を有しています。 水性塗料であるため、安全性、低公害性に優れています。

## 施工上の注意事項

- 1 下地調整の工程は塗装工事における責任範囲には含まれません。
- 2 養生テープは塗膜厚を考慮して、強度の高いものを使用して下さい。
- 3 コンプレッサーは3馬力以上のものご使用下さい。(セラグラニーの3頭ガンは5馬力以上)
- 4 下地は十分に乾燥してから施工してください。乾燥不十分の場合、色ムラ、剥離等の生じる原因となります。
- 5 改修工事の場合、下地の状態を十分に調査し、劣化塗膜の浮き、割れ、チョーキング等の場合、これを完全に除去し、清掃してから施工してください。
- 6 金属下地及び釘頭などの上に施工する場合、必ず防錆処理を行って下さい。
- 7 施工にあたっては同一ロット、同一方法で、入り隅、出隅等見切りの良いところまで仕上げして下さい。同一壁面途中での塗り継ぎは色違いやムラの原因になります。
- 8 気温5℃以下、湿度85%以上または降雨、降雪、強風の場合は施工を避けて下さい。  
また作業後に、降雨、降雪の恐れがある時は雨(雪)養生をして下さい。なお、夜間の気温が氷点下になる恐れがある場合は、午後3時頃までに作業を打ち切るようにして下さい。
- 9 施工後24時間以内に降雨、結露等水の影響で白化や色ムラが発生し、壁面に残る場合があります。
- 10 湿度の高い場合、乾燥が遅れますので十分換気して下さい。乾燥が不十分ですと色ムラ・剥離等を生じる原因となります。
- 11 低温、高湿度、風通しの悪い場合に白化や色ムラが発生し、壁面に残る場合があります。
- 12 冬期・低温時の施工では溶剤系下塗材(シーラー)を使用して下さい。水系下塗材(シーラー)の場合、乾燥が遅くなるため仕上がりにムラを生じる事があります。
- 13 常に結露が発生する地域・時期での施工は避けて下さい。
- 14 仕上材を施工する場合は、上吹き後、夏期24時間、冬期48時間以上乾燥後施工に入して下さい。
- 15 仕上材(トップコート)の施工にはリシンガンを旨いず、必ずエア塗料ガン、エアレススプレーガン等を使用して下さい。
- 16 溶剤系仕上材の可使用時間(セラトップUF(UC)クリアー、セラトップシリコンM、セラトップシリコンSi)は8時間、(セラトップフッ素クリアー)は5時間ですので5～8時間で使い切る量として下さい。
- 17 仕上材の工程内間隔時間はマルチップSi、マルチップF、セラトップUF(UC)クリアー、セラトップフッ素クリアーで3時間以上、セラトップシリコンMで4時間以上、セラトップシリコンSiで6時間以内(気温20℃、湿度65%)として下さい。
- 18 セラトップUF(UC)クリアー、セラトップシリコンM、セラトップシリコンSi、セラトップフッ素クリアーは溶剤系塗料であるため、消防法及び危険物取締条例等関係法令に準拠し、防火、消火、安全衛生等に備えるとともに正しい使用により施工して下さい。
- 19 安全衛生上の注意事項については、下記に掲載していますが、容器の表示も合わせてご参照下さい。
- 20 その他の注意事項
  - ①材料の有効期間は密封保存で6ヶ月以内ですが、早めに使用して下さい。
  - ②材料の保管は気温5～35℃で、密封のまま直射日光を避け、屋内に貯蔵して下さい。長時間貯蔵したものは十分攪拌し、変質の有無を確認して下さい。

※その他、ご不明な点がございましたら、弊社までお問い合わせ下さい。

## 標準施工仕様

### 〔1〕 施工前の注意事項

- 1 湿度の高い場合、乾燥が遅れますので十分換気して下さい。乾燥が不十分ですと色ムラ・剥離等を生じる原因となります。
- 2 仕上材を施工する場合は、上吹き後、夏期24時間、冬期48時間以上乾燥後施工に入して下さい。
- 3 仕上材(トップコート)の施工にはリンガンを用いず、必ずエア塗料ガン、エアレスプレーガン等を使用して下さい。
- 4 仕上材の工程内間隔時間は3時間以上(気温20℃、湿度65%)として下さい。

工程		使用材料名と調合割合	所要量 (kg/m <sup>2</sup> )	使用器具	回数	間隔時間
1	仕上材	ゼルトップF 13kg  清水 0~0.5kg	0.20~0.25	<b>エアレスユニット</b> 吐出量: 1.3~1.6ℓ/min 口径: 0.5~1.0mm ハターン: 330mm <b>エアースプレー</b> 口径: 1.0~1.5mm 圧力: 340~440KPa	2	3時間以上

※ 上記の各数値は全て標準のものです。施工方法、施工条件等により多少の差異を生じる事がありますのでご了承下さい。

### 塗装上の注意事項

- 1 気温が5℃以下、湿度85%以上又は降雨、降雪、強風の場合は施工を避けて下さい。また、作業後に降雨、降雪の恐れがある時は雨(雪)養生して下さい。
- 2 間隔時間は気温23℃(湿度50%)の場合です。気温が低い場合や湿度が高い場合は、間隔時間を長めにとって下さい。

上記の各数値はすべて標準のものです。施工方法・施工条件等により、多少の差異が生じる事がありますのでご了承下さい。  
 間隔時間は気温23℃(湿度50%)の場合です。気温が低い場合や湿度が高い場合は間隔時間を長めにとって下さい。

## 安全衛生上の注意事項

### 水系商品対象

#### 取扱い及び貯蔵上の注意

- 1 取扱いは、できるだけ皮膚に触れないようにし、必要に応じて防塵マスク、保護メガネ、保護手袋を着用して下さい。
- 2 取扱い後は、手洗い及びうがいを充分に行ってください。
- 3 子供の手の届かない所に保管して下さい。
- 4 塗装・洗浄・乾燥等を行う取扱い作業場所では局所排気装置を設け、作業中・作業後も充分換気を行ってください。

#### 緊急時及び応急処置

- 1 容器からこぼれた場合には、砂等を散布した後処理して下さい。
- 2 目に入った場合には、直ちに多量の水で15分以上洗い、できるだけ早く医師の診断を受けて下さい。
- 3 誤って飲み込んだ場合には、できるだけ早く医師の診断を受けて下さい。

#### 廃棄上の注意

- 1 中身を使い切ってから廃棄して下さい。
- 2 廃塗材、廃容器、洗浄水等は、産業廃棄物処理業者に委託して処理して下さい。

詳細な内容が必要な場合には、化学物質等安全データシート(MSDS)をご参照下さい。

### 溶剤系商品対象

通常の塗料に比べて幾分毒性が強く、吸入したり皮膚に触れたりすると中毒やかぶれを起こす恐れがありますから、取扱いには下記の注意事項を守ってください。

#### 取扱い及び貯蔵上の注意

- 1 火気のある所では使用しないで下さい。
- 2 塗装中、乾燥中、とも換気をよくし、蒸気を吸い込まないようにして下さい。
- 3 取扱いは、できるだけ皮膚に触れないようにし、必要に応じて有機ガス用防毒マスク、送気マスク、頭巾、保護メガネ、襟巻タオル、保護手袋、前掛け等を着用して下さい。
- 4 取扱い後は、手洗い及びうがいを充分に行ってください。
- 5 子供の手の届かない所に保管して下さい。
- 6 40℃以下の一定の場所を定めて貯蔵して下さい。

#### 緊急時及び応急処置

- 1 容器からこぼれた場合には、布で拭き取って水をはった容器に保管して下さい。
- 2 目に入った場合には、直ちに多量の水で15分以上洗い、できるだけ早く医師の診断を受けて下さい。
- 3 誤って飲み込んだ場合には、できるだけ早く医師の診断を受けて下さい。
- 4 蒸気、ガス等を吸い込んで気分が悪くなった時は、安静にし、必要に応じて、できるだけ早く医師の診断を受けて下さい。
- 5 皮膚に付着した時には、多量の石鹼水で洗い落とし、痛み又は外観に変化がある時は、できるだけ早く医師の診断を受けて下さい。
- 6 火災時には、炭酸ガス、泡又は粉末消火器を用いて下さい。

#### 廃棄上の注意

- 1 中身を使い切ってから廃棄して下さい。
- 2 廃塗材、廃容器、洗浄水等は、産業廃棄物処理業者に委託して処理して下さい。

詳細な内容が必要な場合には、化学物質等安全データシート(MSDS)をご参照下さい。

# 標準施工仕様書

製品名 セラトップフッ素クリヤー

---

仕様 -

---

山本窯業化工株式会社

技 術 部

## 製品概要

JIS表示	JIS A 6909 建築用仕上塗材上塗材
特記	フッ素樹脂塗料
性状	透明液体
光沢	全艶                      半艶                      艶消
用途	住宅・マンション・事務所・店舗・学校・その他の建築物(新築・改修)の内外壁面。
適用下地	カラーセラミックス製品の上塗材
適用箇所	屋内・屋外壁面
荷姿	セラトップフッ素クリヤー主剤 13kg/缶 セラトップフッ素クリヤー硬化剤 1kg/缶 セラトップフッ素クリヤーシンナー 16L/缶
概要	2液型反応タイプのフッ素樹脂塗料により、強靱で耐久性の高い塗膜を形成します。劣化の原因となる紫外線から塗膜を守り、長期にわたって建物を保護し、美観を維持します。
特徴	超耐候性を有しています。 耐薬品性、耐水性、耐汚染性に優れ、腐食雰囲気中での耐久性も良好です。 可使時間が長く(5時間)容易に使用できます。

## 施工上の注意事項

- 1 下地調整の工程は塗装工事における責任範囲には含まれません。
- 2 養生テープは塗膜厚を考慮して、強度の高いものを使用して下さい。
- 3 コンプレッサーは3馬力以上のものご使用下さい。(セラグラニーの3頭ガンは5馬力以上)
- 4 下地は十分に乾燥してから施工して下さい。乾燥不十分の場合、色ムラ、剥離等の生じる原因となります。
- 5 改装工事の場合、下地の状態を十分に調査し、劣化塗膜の浮き、割れ、チョーキング等の場合、これを完全に除去し、清掃してから施工して下さい。
- 6 金属下地及び釘頭などの上に施工する場合、必ず防錆処理を行って下さい。
- 7 施工にあたっては同一ロット、同一方法で、入り隅、出隅等見切りの良いところまで仕上げして下さい。同一壁面途中での塗り継ぎは色違いやムラの原因になります。
- 8 気温5℃以下、湿度85%以上または降雨、降雪、強風の場合は施工を避けて下さい。  
また作業後に、降雨、降雪の恐れがある時は雨(雪)養生をして下さい。なお、夜間の気温が氷点下になる恐れがある場合は、午後3時頃までに作業を打ち切るようにして下さい。
- 9 施工後24時間以内に降雨、結露等水の影響で白化や色ムラが発生し、壁面に残る場合があります。
- 10 湿度の高い場合、乾燥が遅れますので十分換気して下さい。乾燥が不十分ですと色ムラ・剥離等を生じる原因となります。
- 11 低温、高湿度、風通しの悪い場合に白化や色ムラが発生し、壁面に残る場合があります。
- 12 冬期・低温時の施工では溶剤系下塗材(シーラー)を使用して下さい。水系下塗材(シーラー)の場合、乾燥が遅くなるため仕上がりにムラを生じる事があります。
- 13 常に結露が発生する地域・時期での施工は避けて下さい。
- 14 仕上材を施工する場合は、上吹き後、夏期24時間、冬期48時間以上乾燥後施工に入して下さい。
- 15 仕上材(トップコート)の施工にはリシンガンを用いず、必ずエア塗料ガン、エアレスプレーガン等を使用して下さい。
- 16 溶剤系仕上材の可使時間(セラトップUF(UC)クリヤー、セラトップシリコンM、セラトップシリコンSi)は8時間、(セラトップフッ素クリヤー)は5時間ですので5~8時間で使い切る量として下さい。
- 17 仕上材の工程内間隔時間はマルチップSi、マルチップF、セラトップUF(UC)クリヤー、セラトップフッ素クリヤーで3時間以上、セラトップシリコンMで4時間以上、セラトップシリコンSiで6時間以内(気温20℃、湿度65%)として下さい。
- 18 セラトップUF(UC)クリヤー、セラトップシリコンM、セラトップシリコンSi、セラトップフッ素クリヤーは溶剤系塗料であるため、消防法及び危険物取締条例等関係法令に準拠し、防火、消火、安全衛生等に備えるとともに正しい使用により施工して下さい。
- 19 安全衛生上の注意事項については、下記に掲載していますが、容器の表示も合わせてご参照下さい。
- 20 その他の注意事項
  - ① 材料の有効期間は密封保存で6ヶ月以内ですが、早めに使用して下さい。
  - ② 材料の保管は気温5~35℃で、密封のまま直射日光を避け、屋内に貯蔵して下さい。長時間貯蔵したものは十分攪拌し、変質の有無を確認して下さい。

※その他、ご不明な点がございましたら、弊社までお問い合わせ下さい。

## 標準施工仕様

### 〔1〕 施工前の注意事項

- 1 湿度の高い場合、乾燥が遅れますので十分換気して下さい。乾燥が不十分ですと色ムラ・剥離等を生じる原因となります。
- 2 仕上材を施工する場合は、上吹き後、夏期24時間、冬期48時間以上乾燥後施工に入して下さい。
- 3 仕上材(トップコート)の施工にはリシンガンを用いず、必ずエア塗料ガン、エアレスプレーガン等を使用して下さい。
- 4 セラトップフッ素クリヤーの可使時間は5時間ですので5時間で使い切る量として下さい。
- 5 仕上材の工程内間隔時間は3時間以上(気温20℃、湿度65%)として下さい。
- 6 セラトップフッ素クリヤー溶剤系塗料であるため、消防法及び危険物取締条例等関係法令に準拠し、防火、消火、安全衛生等に備えるとともに正しい使用により施工して下さい。

工程	使用材料名と調合割合	所要量 (kg/m <sup>2</sup> )	使用器具	回数	間隔時間
1	セラトップフッ素クリヤー主剤 (全艶)	13kg	エアレスユニット 吐出量:1.3~1.6ℓ/min 口径:0.5~1.0mm パターン:330mm エアースプレー 口径:1.0~1.5mm 圧力:340~440KPa	2	3時間以上
	セラトップフッ素クリヤー硬化剤	1kg			
	セラトップフッ素クリヤーシンナー	2.8~7ℓ			
1	セラトップフッ素クリヤー主剤 (半艶)	13kg	エアレスユニット 吐出量:1.3~1.6ℓ/min 口径:0.5~1.0mm パターン:330mm エアースプレー 口径:1.0~1.5mm 圧力:340~440KPa	2	3時間以上
	セラトップフッ素クリヤー硬化剤	1kg			
	セラトップフッ素クリヤーシンナー	2.8~7ℓ			
1	セラトップフッ素クリヤー主剤 (艶消)	13kg	エアレスユニット 吐出量:1.3~1.6ℓ/min 口径:0.5~1.0mm パターン:330mm エアースプレー 口径:1.0~1.5mm 圧力:340~440KPa	2	3時間以上
	セラトップフッ素クリヤー硬化剤	1kg			
	セラトップフッ素クリヤーシンナー	2.8~7ℓ			

### 対応商品

セラスキン	セラキャストX	ハイシーカラー	グッセラGスキン	セラカット	コテファインライムSi
セラスキン特粒	パーマロン	テラウォールSi	グッセラGベック	マデストーン	ユカセラHR(吹付用)
セラスキンCGM	パワーローラーS	グッセラGキャスト	フレミックス	コテファインK	ユカセラHR(コテ塗り用)
セラスキンローラー	パワーローラーL	グッセラGローラー	ハイシーストーンSi	コテファインP	ユカセラHG
セラベック	セラキューブEX	アレナム-ロ	グッセラGマープル	セラグラニー-W <sub>3</sub>	※ユカセラHR、HGは半艶、艶消の施工はできません。
セラフラット	コテファインFX	グラテ	グッセラGマルチ	グッセラGグラニー-L	
テラックス	テラックス2000	ファインローラー-Si	グッセラGハイシー	グッセラGグラニー-W	
セラキャストD	パワーキャスト	グッセラGキューブ	セラグラニー-L	グッセラGグラニー-W <sub>3</sub>	
セラキャストSC	マルチストーン	グッセラGテラックス	セラグラニー-W	コテファインサガンSi	

※ 上記の各数値は全て標準のものです。施工方法、施工条件等により多少の差異を生じる事がありますのでご了承下さい。

### 塗装上の注意事項

- 1 気温が5℃以下、湿度85%以上又は降雨、降雪、強風の場合は施工を避けて下さい。また、作業後に降雨、降雪の恐れがある時は雨(雪)養生して下さい。
- 2 間隔時間は気温23℃(湿度50%)の場合です。気温が低い場合や湿度が高い場合は、間隔時間を長めにとって下さい。
- 3 希釈用シンナーは必ず専用シンナーを使用して下さい。
- 4 スプレー塗装の場合は、塗膜の剥離の原因となるドライアウト現象を起こさないように注意し、高温、強風下等の環境条件によってはシンナーを増量して下さい。
- 5 溶剤系塗料であるため施工に当っては換気及び通気をよくし、保護メガネ、マスク、手袋等の着用を励行して下さい。消防法及び危険物取締条例等関係法令に準拠し、防火、消火、安全衛生等に備えると共に正しい使用により施工して下さい。

上記の各数値はすべて標準のものです。施工方法・施工条件等により、多少の差異が生じる事がありますのでご了承下さい。  
間隔時間は気温23℃(湿度50%)の場合です。気温が低い場合や湿度が高い場合は間隔時間を長めにとって下さい。



## 安全衛生上の注意事項

### 水系商品対象

#### 取扱い及び貯蔵上の注意

- 1 取扱いは、できるだけ皮膚に触れないようにし、必要に応じて防塵マスク、保護メガネ、保護手袋を着用して下さい。
- 2 取扱い後は、手洗い及びうがいを充分に行ってください。
- 3 子供の手の届かない所に保管して下さい。
- 4 塗装・洗浄・乾燥等を行う取扱い作業場所では局所排気装置を設け、作業中・作業後も充分換気を行ってください。

#### 緊急時及び応急処置

- 1 容器からこぼれた場合には、砂等を散布した後処理して下さい。
- 2 目に入った場合には、直ちに多量の水で15分以上洗い、できるだけ早く医師の診断を受けて下さい。
- 3 誤って飲み込んだ場合には、できるだけ早く医師の診断を受けて下さい。

#### 廃棄上の注意

- 1 中身を使い切ってから廃棄して下さい。
- 2 廃塗材、廃容器、洗浄水等は、産業廃棄物処理業者に委託して処理して下さい。

詳細な内容が必要な場合には、化学物質等安全データシート(MSDS)をご参照下さい。

### 溶剤系商品対象

通常の塗料に比べて幾分毒性が強く、吸入したり皮膚に触れたりすると中毒やかぶれを起こす恐れがありますから、取扱いには下記の注意事項を守ってください。

#### 取扱い及び貯蔵上の注意

- 1 火気のある所では使用しないで下さい。
- 2 塗装中、乾燥中、とも換気をよくし、蒸気を吸い込まないようにして下さい。
- 3 取扱いは、できるだけ皮膚に触れないようにし、必要に応じて有機ガス用防毒マスク、送気マスク、頭巾、保護メガネ、襟巻タオル、保護手袋、前掛け等を着用して下さい。
- 4 取扱い後は、手洗い及びうがいを充分に行ってください。
- 5 子供の手の届かない所に保管して下さい。
- 6 40℃以下の一定の場所を定めて貯蔵して下さい。

#### 緊急時及び応急処置

- 1 容器からこぼれた場合には、布で拭き取って水をはった容器に保管して下さい。
- 2 目に入った場合には、直ちに多量の水で15分以上洗い、できるだけ早く医師の診断を受けて下さい。
- 3 誤って飲み込んだ場合には、できるだけ早く医師の診断を受けて下さい。
- 4 蒸気、ガス等を吸い込んで気分が悪くなった時は、安静にし、必要に応じて、できるだけ早く医師の診断を受けて下さい。
- 5 皮膚に付着した時には、多量の石鹼水で洗い落とし、痛み又は外観に変化がある時は、できるだけ早く医師の診断を受けて下さい。
- 6 火災時には、炭酸ガス、泡又は粉末消火器を用いて下さい。

#### 廃棄上の注意

- 1 中身を使い切ってから廃棄して下さい。
- 2 廃塗材、廃容器、洗浄水等は、産業廃棄物処理業者に委託して処理して下さい。

詳細な内容が必要な場合には、化学物質等安全データシート(MSDS)をご参照下さい。